

< 16 - 10 >

2016年4月

先生各位

## 「尿中L型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）」

### 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび標記検査項目におきまして、検査内容の変更をさせていただきますのでご案内申し上げます。

何卒、ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

#### ■対象項目:

・尿中L型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）

[項目コード: 3710]

#### ■変更実施日:

2016年 6月 1日（水）受付分より

以上

※ 詳細は裏面をご覧ください

## ●尿中L型脂肪酸結合蛋白（L-FABP）

測定試薬をCLEIA法による試薬に変更させていただきます。本変更により、検出感度が向上するとともに、報告所要日数の短縮が可能となりました。

なお、検体量・基準値に変更はございません。

変更箇所	新	現
検査方法	CLEIA	EIA
保存方法	冷蔵	凍結
報告上限	濃度 200,000 ng/mL 以上	濃度 ∞
報告下限	濃度 0.50 ng/mL 未満	濃度 1.5 ng/mL 未満
報告形態	濃度 小数2位、有効5桁	濃度 小数1位、有効3桁
所要日数	3～4日	3～6日
備考	クレアチニン補正值 ( $\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$ ) および濃度 (ng/mL) をご報告致します。濃度が0.50 ng/mL未満の場合は、 <u>0.50ng/mL</u> を用いてクレアチニン補正し、未満を付記してご報告致します。	クレアチニン補正值 ( $\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$ ) および濃度 (ng/mL) をご報告致します。濃度が <u>1.5 ng/mL</u> 未満の場合は、 <u>1.5ng/mL</u> を用いてクレアチニン補正し、未満を付記してご報告致します。

### <<新法と現法の相関>>

